



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月6日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4829 URL <https://www.nihon-e.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	1,081	5.3	46	132.2	48	87.5	27	—
2023年5月期第1四半期	1,027	0.2	20	△74.1	25	△66.9	△2	—

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 31百万円 (1,076.3%) 2023年5月期第1四半期 2百万円 (△95.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	0.71	—
2023年5月期第1四半期	△0.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第1四半期	5,627	4,874	84.1	122.87
2023年5月期	5,717	4,926	83.7	124.18

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 4,734百万円 2023年5月期 4,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	4,500	6.9	210	16.4	220	15.7	110	6.6	2.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
当社は年次での業務管理を行っているため、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	38,534,900株	2023年5月期	38,534,900株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	ー株	2023年5月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	38,534,900株	2023年5月期1Q	38,534,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行で行動制限が解除され、景気は緩やかな回復傾向となる一方で、エネルギー・原材料の価格高騰や円安による輸入価格の上昇の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当社グループに関連するITサービス業界を取り巻く環境は、高度なデジタル化・ネットワーク化によるモバイルコンテンツ関連市場の成長、サステナビリティの重要性を追い風としたDX（注1）推進に伴う企業の活発なIT投資等により堅調に拡大しております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、クリエイション事業（コンテンツサービス、ビジネスサポートサービス等）及びソリューション事業（システム開発サービス、業務支援サービス、その他サービス）を推進し、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリアの定額制コンテンツが伸長したものの、月額コンテンツ及びアプリストアのコンテンツの減少を補えず減収となりました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進む中、音声等については引き続き伸長いたしました。また、キッティング支援等の減少に伴い、減収いたしました。

以上の結果、クリエイション事業の売上高は3億88百万円（前年同四半期比8.0%減）、セグメント利益は1億25百万円（同52.9%増）となりました。

<ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発サービス」においては、サステナビリティの重要性を追い風としたDXの推進に伴い、AIやIoT（注2）等、様々な技術を組み合わせたシステム開発の需要が増大する中、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、スクラッチ開発（注3）を中心としたアプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポート、販売促進等クリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発が大きく増進いたしました。

人手不足問題にマッチした「業務支援サービス」においては、大手通信キャリアを中心に積極的な営業を推し進めたものの、顧客のニーズにマッチした人材提供に時間を要し減収となりました。

また、「その他サービス」は、AI画像解析関連機器の納入等に伴い、大幅に伸長いたしました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は6億92百万円（前年同四半期比14.5%増）、セグメント利益は68百万円（同14.5%減）となりました。

<連結決算の概況>

当第1四半期連結累計期間における売上高は10億81百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は46百万円（同132.2%増）、経常利益は48百万円（同87.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円（前年同四半期は2百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

売上高については、「ビジネスサポートサービス」等が減少したものの、「その他サービス」「システム開発サービス」が増勢に推移したため、増収となりました。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益については、増収の他、広告宣伝費や人件費等販売費及び一般管理費の減少に伴い、増益となりました。

（注1）「Digital Transformation」の略

「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念。

（注2）「Internet of Things」の略

モノをインターネットに接続して制御・認識などを行う仕組みを意味する。

（注3）システム開発で、特定のパッケージ製品のカスタマイズや機能追加などによらず、すべての要素を個別に最初から開発すること。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して90百万円減少し、56億27百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の減少、売掛金及び契約資産の減少及び電子記録債権の増加により前連結会計年度末と比較して2億75百万円減少し、48億18百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券の増加により前連結会計年度末と比較して1億85百万円増加し、8億9百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金の減少、未払法人税等の減少、流動負債その他（未払費用等）の減少及び賞与引当金の増加により前連結会計年度末と比較して37百万円減少し、7億53百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありました。剰余金の配当により前連結会計年度末と比較して52百万円減少し、48億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2023年7月14日公表の連結業績予想値に変更はありません。

引き続き、クリエイション事業（コンテンツサービスの拡充・創出、キックイン支援の新たなビジネスモデル展開）、ソリューション事業（社会のDX推進に対応したシステム開発サービスや業務支援サービスの伸長、AI画像解析に伴う大型案件の獲得や中古端末買取販売サービスの拡大）に注力することで、増収増益を目標としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,335,472	4,044,625
売掛金及び契約資産	667,605	630,624
電子記録債権	—	45,100
商品	12,654	13,140
仕掛品	13,596	14,652
貯蔵品	290	225
未収入金	10,963	7,448
その他	53,531	62,829
貸倒引当金	△262	△262
流動資産合計	5,093,852	4,818,383
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,542	24,531
機械及び装置（純額）	237,400	231,495
土地	12,400	12,400
その他（純額）	8,275	11,701
有形固定資産合計	283,617	280,128
無形固定資産		
ソフトウェア	172,564	170,351
その他	7,049	6,848
無形固定資産合計	179,614	177,199
投資その他の資産		
投資有価証券	52,196	243,656
差入保証金	78,963	78,486
繰延税金資産	27,626	27,873
その他	2,120	2,120
投資その他の資産合計	160,906	352,136
固定資産合計	624,138	809,464
資産合計	5,717,990	5,627,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,130	154,083
1年内返済予定の長期借入金	23,496	23,496
未払法人税等	37,260	20,231
未払消費税等	52,486	50,519
契約負債	35,780	33,715
賞与引当金	—	17,239
役員賞与引当金	—	1,281
その他	251,547	230,281
流動負債合計	568,701	530,848
固定負債		
長期借入金	159,907	154,033
退職給付に係る負債	50,504	52,757
その他	12,284	15,836
固定負債合計	222,696	222,626
負債合計	791,398	753,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,338	1,108,338
資本剰余金	984,894	984,894
利益剰余金	2,692,070	2,642,292
株主資本合計	4,785,303	4,735,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△782
その他の包括利益累計額合計	—	△782
新株予約権	1,471	1,664
非支配株主持分	139,818	137,964
純資産合計	4,926,592	4,874,371
負債純資産合計	5,717,990	5,627,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	1,027,138	1,081,194
売上原価	611,764	665,054
売上総利益	415,374	416,139
販売費及び一般管理費	395,211	369,323
営業利益	20,163	46,816
営業外収益		
受取利息	43	21
受取賃貸料	333	333
業務受託手数料	150	240
為替差益	66	116
補助金収入	4,583	1,710
その他	1,309	83
営業外収益合計	6,486	2,504
営業外費用		
支払利息	566	510
支払手数料	106	106
その他	7	7
営業外費用合計	680	624
経常利益	25,968	48,696
税金等調整前四半期純利益	25,968	48,696
法人税、住民税及び事業税	20,978	16,738
法人税等調整額	2,318	△247
法人税等合計	23,297	16,491
四半期純利益	2,671	32,204
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,656	4,912
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,985	27,291

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	2,671	32,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△782
その他の包括利益合計	—	△782
四半期包括利益	2,671	31,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,985	26,509
非支配株主に係る四半期包括利益	5,656	4,912

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	422,197	604,941	1,027,138	—	1,027,138
セグメント間の内部売上高又は 振替高	60	4,582	4,642	△4,642	—
計	422,257	609,524	1,031,781	△4,642	1,027,138
セグメント利益	81,926	80,325	162,252	△142,089	20,163

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△142,089千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	388,463	692,730	1,081,194	—	1,081,194
セグメント間の内部売上高又は 振替高	60	1,856	1,916	△1,916	—
計	388,523	694,586	1,083,110	△1,916	1,081,194
セグメント利益	125,295	68,708	194,004	△147,187	46,816

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△147,187千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。